

令和5年度8月（第5回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 令和5年8月29日（火）午後2時00分から午後3時20分
場 所 雲仙市千々石庁舎3階 大会議室
出 席 者 ・ 大津善信教育長 ・ 駒田義弘教育長職務代理者 ・ 仁禮智加子委員
・ 永岡悦子委員 ・ 江川儀平委員
・ 事務局 （ 小松教育次長、富永総務課長、中村学校教育課長
林田生涯学習課長、草野スポーツ振興課長
総務課森田課長補佐（書記） ）

欠 席 者 なし

会議日程

第1 前回会議録承認の件

第2 報告事項

- (1) 教育長の報告
- (2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画
- (3) 各課からの報告

第3 付議事項

報告第7号 雲仙市招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について

第4 その他

次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

教育長が令和 5 年度 8 月（第 5 回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第 1 前回会議録承認の件

「前回会議録承認の件」を議題とし、令和 5 年度第 4 回定例会会議録署名委員に駒田委員及び永岡委員を指名する。

教育長

- ・特に意見、質問が無いことから、第 4 回定例会会議録の承認を宣言する。

日程第 2 報告事項

(1) 教育長の報告

- ・教育長が月例報告について、資料により説明・報告を行う。

教育長

- ・特に意見、質問がないことを確認する。

(2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画

事務局

- ・資料により各課別に説明する。

委員

- ・小学校の運動会で 4 校が 9 月の中下旬に実施されるようだが、今年の夏は異常な暑さで、先日、北海道で小学 2 年生の児童が体育の授業が終わり、教室へ戻る途中に倒れそのまま亡くなったという悲しい事故があった。熱中症に対して、昔よりももっと対策をしなければいけないと思うが、熱中症対策について新たな動きや対策があったら教えていただきたい。

事務局

- ・学校の熱中症対策としては、県教育委員会が策定している熱中症予防のためのガイドラインがあり、9 月の運動会の練習は、2 学期の始業式後にはスタートすると思うが、それぞれの学校の管理職、養護教諭、担任も含め子ども達に対し、なるべく長時間日なたに出させない、適宜休憩、水分補給を行う等、熱中症には一番気をつけて対応している。また、短縮型の運動会を実施し、練習時間や競技数を少なくし時間短縮を図っている学校もある。中学校については、9 月を過ぎると、外での行事等は少なくなっている。

委員

- ・部活動はどのような状況なのか。自分の子どもに（過去の）部活動の話聞いたところ、朝 9 時、10 時くらいから始まって昼の 12 時頃終わって、暑い中帰ってくると聞いた。顧問の先生が付いていない日もあるようで、子供たちだけで部活をしていることもあり、そのような目の行き届かないこともあるので、親としてちょっと心配だなと思った。ある新聞では、部活動の保護者による見守りを当番制で付けないといけない、との記事を

見かけたので、今後そのような動きになっていくのかとも感じた。本市において、例えば夕方涼しい時間帯に部活動を行う等の指導はないのか。

事務局

- ・夏休みの部活動に係る実態については、全てについて調査等を行っているわけではないが、ガイドラインに則って、学校が対応するよう指示しているにとどまっている状況である。

委員

- ・市内のある中学校の話であるが、今年10月に駅伝大会があるようで、その時の気温等の環境に合わせて朝9時ぐらいから今日はジョグだけとか、違う日には沢山走ったとか、環境に合わせて活動されているようだ。先生方や地域の方が見守りながら、学校の外に走りに行ったりもされていて、すごく気を使い練習しているなというのを感じた。

委員

- ・部活動の関連であるが、夏の部活動の在り方というのは、本当に大変だなという感じがして、その中で、九州中総体、全国中総体、頑張って結果を残しており、部活動があるというのは非常にうれしいと思う。屋外スポーツの監督や指導者の先生の話聞いたが、本当に神経を使って練習に取り組んでいるようで、「水分補給と休憩時間をどこでどう入れていくかということに相当気を使っています」と話をされて、そのような中で頑張れたんだなという気持ちでした。ここで別な視点から、その中学生たちが自転車で部活に行く時に、行きも帰りもヘルメットをきちんと着用しており、この暑い中でも「ヘルメットは着用しないと」という指導が徹底しているんだなと、中学生を見ながら思った。この中学生がヘルメットをきちんと着用しているということは、小学生に対し指導が非常にしやすいと思う。「中学校のお兄さんお姉さんたちは、暑くてもきちんとヘルメットを着用しているから、小学生も頑張らないと」と言え、良いお手本として使えるのではないかと感じた。

教育長

- ・他に意見、質問がないことを確認する。

(3) 各課からの報告

事務局

- ・総務課から、台風6号による大塚小学校の掲揚台の被害状況について説明する。

委員

- ・この掲揚台のポールは何メートルあるのか。

事務局

- ・高い方のポールは9mくらいあったと思う。非常に高かったので、学校と相談して、今度新たに設置するポールは、少しサイズを短くして、7m（中央）と6m（左右）で今計画

をしている。

委員

- ・私がある小学校に勤務していたときに、掲揚ポールの高さが非常に気になっていて、特に中央のポールは風が強いと左右に揺れていた。そして年数が経過したときには、土台のコンクリート部分が怪しいということもあり、3m くらい切断して低くしてもらったことがあった。気をつけないと本当に危ない。的確な対応がなされていると思う。

事務局

- ・学校教育課から、令和5年度全国学力調査の概要について報告する。

委員

- ・正答率が少ないといった問題であるが、国語の回答を書くところに至るまでに、ブレずに辿り着けて、文を書き出せるか。(資料の) この問題だったら恐らく、本当に一部の子供しか書けないと思う。問題としては、良い問題なんだろうと私は思うが。このようなテストの時に、子供たちのようすを見ていると、「ああ・・・この子は、問題の意味が全然分かっていないのだろうな」と。読んで、何を答えないといけないのか、そこに至らないで、もう取りあえず何かを書くと。だから合うわけが無い。そういったことで苦しい思いをしている子供たちがたくさんいたな、そういう子供を救えなかったなという反省に立つが、やはり些細な言葉でも文でもいいので、きちんと読んで、自分で分かるとか理解するというような初歩の部分、そういった部分を大事にして子供を育てていかないといけないと思う。ちょっと難しい問題を目の前にしたならば、もう逃げるしかないかなというような気持ちを持った、そういった子供を1人でも減らしていくような授業を1年生のときから頑張らないといけないと、今改めて感じている。

委員

- ・学力調査は中学校は2 学年での実施だったと思うが、ある中学校を見ると、点数が少し低いようで、この学年の子たちは、ちょっと対応を考えないといけない方たちもいたと聞いているが、学力の方にも影響があるのか。

事務局

- ・当該学年の事は、小学校の時の状況等も聞いている。この学級の中で落ちつかない状況であれば、例えば授業が途中で中断する。または、そういう一部の子供たちに他の子が気をとられてしまう、そのことは、可能性としては十分あると思う。ただ、私たちが学校の方にいつも指導しているのは、私たちは行政なので、この平均点というところで、どうしても見ないことには、市全体の教育行政の施策を打てない、でも学校というのは、一人一人の子供の点数を見てください。着目すべきは、試験で丸がついたところはもちろん褒めるが、丸がつかなかったところを、その子が年度末、学年を終えるまで、またはその子が中学校を卒業するまでに、何とかできるように補充をしていく。つまり、調査というのは指導の必要な部分を洗い出す作業にさせていただきたい。担任または教科担任は責任持って出来無かった所を出来る限りで良いので、出来るようにして次の学年へバトタッチしていく。ですから、市学力調査は、春実施ではなく、冬実施にしており、

12月まで勉強した分のテストを行う。当然、学級担任は、自分のクラスの中で特に出来ていなかった問題は、全て1月の末に把握する。だからそれを3月までに必ず復習、おさらいをしてくださいという意味での市学力調査を冬実施にしているところである。

委員

- ・この学年は少し気になっていたが、中学校になって本当に落ちついたなと思った。学校の先生をはじめ校長先生や教頭先生もすごく努力されておられ、少しずつでもいいので、日常生活がよくなっていけばいいなと思っていた。今後も見守っていきたいと思う。

教育長

- ・他に意見、質問がないことを確認する。

日程第3 付議事項

- 1 報告第7号 雲仙市招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について

事務局

- ・報告資料により説明する。

教育長

- ・特に意見、質問がないことを確認する。

日程第4 その他

- 1 次回、雲仙市教育委員会定例会の招集日程について、令和5年9月28日（木）午後2時00分から雲仙市千々石庁舎3階大会議室で開催することを確認する。

教育長

- ・ほかに意見、質問、報告等がないことを確認し、令和5年度8月（第5回）雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。